

Miho (Japan)

Bab.la のインターンを終えて

Bab.la でインターンを3ヶ月しました。海外で働いた経験はあったものの、ドイツで働くのは今回が初めてでした。なのでやはり最初は緊張しましたね。しかし実際 Bab.la はとても国際的な雰囲気があって、とても楽しかったですし、本当にやって良かったと思いました。世界各国の人達が集まって一つのプロジェクトを遂行する。こんなに素晴らしいことはないと思いませんか。

今回は仕事だけではなく、毎週木曜日の昼食には自分の国の料理を作って、皆で食べたり、仕事帰りに皆で集まったりして国際交流ができました。私は定番のすしとカレーを作って持っていったら、皆に喜ばれました。他にも国によってこんなに文化が違うんだと認識させられたり、特に東ヨーロッパの国々に関して恥ずかしいほど無知だったので、今回いろんなことを勉強できるいい機会だったと思います。とにかくいろんなことを吸収できたと思います。

もちろん私の任務（大げさですが）は、私を通じてもっと日本を知ってもらうことでした。私が住んでいた米国と違って、ヨーロッパの人々は残念ながらアジアに関しての知識が薄いし、興味がありません。あったとしても、中国語を勉強している人のほうが圧倒的に多い。悲しい現実ですが、だからこそいろいろ日本について勉強してほしかった。毎週書かなければならなかった日本を紹介する記事 (<http://www.lexiophiles.com/>) は、特に一生懸命頑張りました。おかげで少しは日本への興味が増えたかな（とおもいたい。）

インターネットビジネスは日本でもこれからもっと増えてくるでしょう。私は他の職種で経験を積んでいて、インターネットビジネスに興味があったものの、なかなか学べる機会がなかったのが、今回とてもいい勉強になりました。Bab.la はインターネットビジネスだけでなく、英語も同時に磨けます。やはり英語が主体で、ドイツ語はよほど意識して話そうとしないと皆すぐに英語になってしまいます。私はドイツ語も勉強したかったので、それに関してはちょっと残念でした。

もちろんインターンですから、給料は低く設定してありますが、これだけたくさんのお金を吸収できて英語も勉強できるのだから、むしろラッキーでしょう。英語も日本の若い人達にもっと勉強して行ってほしい。そのためにも積極的に海外でのこういったインターンの形で経験を積んで行って下さい。これからグローバル化はもっともっと促進されてゆくでしょう。国際競争が増えた今だからこそ、自分を磨くためにも英語やインターネットの知識があれば有利になることは間違いないでしょう。